



すとりべりー通信

NO. 17

NPO 法人 KHJ とちぎベリー会 (平成22年 2月14日発行)

NPO 法人化記念講演会開催される

平成22年1月24日NPO法人化を記念した講演会がとちぎ福祉プラザで盛大に開催されました。

100人近い参加者の中には9人の当事者達の参加もあり、嬉しい講演会となりました。

第一部は “ 子ども・若者育成支援推進法を生かすために ” と題して本部長奥山雅久さんによる次のようはお話がありました。

- ・ 残り少ない人生を楽しんで引きこもりに携わって10年になる。親父の内省ということで4月に内観法を紹介したい。五臓六腑、足を取って10年間走り続けてきたがこの中で家族会設営をして、このよりどころを潰さないできた。これは家族会が必要とされているから。
- ・ 忙しく動いているがボランティアでお金にならない。しかしそれ以上の価値、命を頂き生かされている。
- ・ 10年目に始めてニート引きこもりを対象とした“子ども・若者育成支援推進法”が4月から内閣府において施行される。
- ・ 法律になると予算が付く。権利法でなく基本法でありそんなに強くない。
- ・ 無病理性の方から病理性の方、廃人化してしまった方と引きこもりは幅が広い。どのジャンルに入るか会の中に入って他の人の話を聞くと大体分かるので会で学習をして欲しい。
- ・ 家族機能不全、母子共依存になりやすい。離婚等家族が機能をはたせるものがおかしくなっている。会の学習会で理解してほしい。
- ・ NHKでやっていたが国の引きこもり政策推進チームが5、6月に発足する。権利法まで行かなくとも、かなり強力なものになってくるのではないかと思っている
- ・ 4月に本格的な引きこもりに関するガイドラインが出る。大人に遷延化して長引く場合は精神疾患が絡んでくる。惹起増幅することが愛知県精神小児医療センターの追跡調査で分かった。放置したら重くなり、合併症になる。それらを踏まえ、しっかり方針を立ててやってほしい。
- ・ 廃人化近い人、50歳にして挨拶、ごみだし出来ない、回覧板を回せない、

親が死んでも埋葬届けも出せない、電話もかけられない方が出ている。究極の心配が当事者、家族にある。新法が通ったことにより、かなり粘り強く行政に対して頼み込まねばならないが、究極のセーフティネット、生存権は確保出来るどこまで来たなと思っている。

- ・ 身体、知的、精神も不退転の決意でぶつかって行ってはじめて補償通ったのだから1、2回で駄目だったでは駄目。家族で、会全体でやってほしい。5、10、30年超えているとしたら家庭で覚悟しないと、綺麗ごとではない。また、そうならないように居直って欲しい。
- ・ 人生に完成はない。プロセス、経過が人生です。どう生きるか生かされているかです。
- ・ 世間体を大事にそつなく生きたらおめでとう。こういう人生を選ぶ日本人は多い。グローバルスタンダードで時代は急速に変わっている、土地神話、終身雇用制がなくなった時代になったが、意識はまだ世間体に縛られている。生きるとは、社会とは、人生は何であったか見直すとき、時代が違うのに我々の価値観を次の世代に求めたとしたらナンセンス。
- ・ 会で学習して意識を変えてほしい。引きこもりは今やポピュラー自意識過剰にならずどんどん顔を出してやってほしい。

☆ コーヒーブレイクにヌメーションの三味漫画ライブ～♪♪がありました。奏者は元気になり現在大学生の沼尾忠宏さんです。体験をマンガにし、それに三味線で旋律をつけての弾き語りや歌です。大丈夫、大丈夫と歌う沼尾さんと会場が一緒になって涙し、手を叩き、とても盛り上がりました。以前聞いた三味漫画が更にバージョンしたアップし力強い沼尾さんでした。CDはネットで好評発売中です。

第二部は引きこもりに関わって15年…早い回復、長引く回復 “ 親亡き後の心配を減らす為に ” と題して社会福祉法人コミュニティキャンパス、NPO法人以和貴元理事長の小西勝之さんが次のように話しました。

司会者からプロフィール紹介

小西先生は知的、身体、精神障害者、不登校、引きこもりを全国から引き受けどんな問題も断らないという形でコミュニティキャンパスという共同作業所、地域生活支援センター、グループホーム等いろいろな形態を取りながら、場合によって見放された仲間達を引受け24時間体制で共に生きておられる方ですと紹介がありました。また、司会者が小西先生から従来の概念にとらわれない自由な発想ができる方、いろんなものの見方を違う角度から見られる自由人的な魅力を感じましたとお会いした時の感想の紹介がありました。

紹介がありましたがお前みたいなきちがいとは関わりたくないと言って日本の最後の救いの手であるやくざからも見放されています。私は引きこもり本人です。私は40年位引きこもっているつもりなんです。皆さんは引きこもっている概念が私から見ると、自分の世界から出ないのが引きこもりなんですよね。私は全国回っていて、この16年間で私より強度の引きこもりはいないと思っています。

だから、皆さんの言う引きこもりと私の言う引きこもりは違いますね。原理的に引きこもっているのか、現象的に家の中に入っていて出てこないのか。2つあって2つはどういう関係になっているか、16年前に親兄弟に頼まれ、引きこもりにプレッシャーかけて3ヶ月皿洗いさせ、頑張れとほうり出した。16年経ち、幻聴幻覚が出て沈没して帰ってきた。果たして引きこもりから脱して、そのことが良かったのかと言ったら私の総括では良くなかった。家族の要求でそういう結果を出したのだが、その子の能力では(彼は50歳)その子にとっては良くなかった。今度は彼とまともに向き合うと思っています。ほら吹きますが、一番重度の人、精神科医とか、警察、病院、施設とかにあんたらあかんかったら持って来いという。ねじれているのが一杯来る。私はそういうので鍛えられてここまで育ってきた。彼らに育てられて現在がある訳です。軽い重いだけじゃなく一番の根本はその人にとっての自然体、それは何なのかということを実際に考えて欲しい。そこさえ見誤らなければ大きな過ちしないし、その人の納得できる人生、問題解決の可能性がかなり高いです。その当事者がどういう精神状態であるのかということを見極めて欲しい。専門家である医者とかカウンセラーとか彼らの本音は、その人の自然体は何であるかということを知るはずがない。何故かって、皆さんが情報を出さないから、だから専門家は分からない。所詮専門家は皆さんの情報で動いている。私が思うのには、いろんな事件、たとえば骨折させる、殴る、放火する等ガチャガチャやるその時に、彼はどんな目をしていたんだと聞くんですよ。答える人、一人もいないですよ。精神病院とかカウンセラー、ケース記録膨大にあるけど、私らが見て役に立つ情報は全くない。何故かと言うと結果処理、後処理の情報ばかりです。結局彼が何故殴らざるを得なかったのかとかどういう気持ち、怒りの目で殴っていたのか、悲しい目をしてたのかそういうことをキチット親御さん達や回りが見極めれば大きな間違いはない。みなさんは肝心な情報がない、そして知識ばかりが増える。本当に賢くなる、これ以上賢くなってどうするんだと言うくらい賢い。私よりおそらく知識は上になっているでしょう。重要なのはどういう精神状態なのかその子にとって自然体は何なのかという事さえ分かれば、そこから手は

打てる。その人の生き方がどうやったら分かるかと言うと、分かる為には親御さんとか皆さんがどういう生き方をしたいのかということを決めないと見えない。親御さんは知識を集めてやっているが、結局自分がどう生きて死ぬのかということ余り考えてない。意識してない。そこさえちゃんとやれば最初は幼稚で稚拙で無知でも良いんですよね。私は無知の片割れで、専門家に向かってほら吹いているだけ。専門家にあかんかったら持って来いとほら吹いて、持ってこられたのをドンパチやって、その中で学んで行けば良い。これは皆さんも私も一緒です。その中で五感六感を前提にした知識。いろんな専門家がいますが、そういうことは出来ない。知識、情報を売って金にして飯食っている訳だから、個別的なことは無理なんです。だから今の問題解決は皆さんしか問題解決能力がない。それさえやれば大きな間違いはしない。なんで確信があるかと言うと専門家たちがどういうことやっているか裏の話を知っている。同業者だから。彼らは気の毒、医療体制の中で薬売らなきゃ飯食えない。皆さんが何を考えているか分からないので、うちが一番大変と思っている人、手を挙げて。一番大変と思っている位真剣に考えている。どういうところが大変か。(会場より)「23年間引きこもったきり一歩も外へ出て行かない。寝てばかり、36歳親なき後が心配、」小西-安心して、但しやることある。私は親御さんに家出しろという。家出したら飯食えない、どうするか自分で買い物に行って食事を作る。自分の身近で飯が作れ、生活が自立すれば後は何とかなる。お金がなかったら生活保護受ければ良い。行政は何もしない奴には出す気ないが、健気に家事でもやれば仕方ないとなる。「投げ出して本当にやっていけるのか」粉にし-それは彼の人生でしょう。彼は能力無いですか、手足動かないとか。「五体満足です。」小西-じゃ、ばら色、自殺目指す奴はささと自殺目指す、しぶとく生きてるんだから自殺目指してない。「親の決断がなかなか出来ない」。小西-息子を信じる相手を信じるしかないです。究極言えば刺されたって大したこと無いと思って向かう。相手信じたら意外と動く。貴方が生んだ子なんだから。彼が赤ちゃん殺すんじゃないで貴方を刺して貴方が大怪我したって、それは貴方の幸せでしょう。お母さんの思いは分かるが思いだけじゃ世の中進まない。 後省略

3月月例会 3月28日(日) 2F 第一研修室
グループミーティング ‘うちの子の限って 受入れられない親’
4月学習会 4月25日(日) 2F 第2研修室
(月例会) 親父の内省 奥山雅久 全国代表理事長